ハートフル

三木市子どもいじめ防止センターだより

～きこえる　いっしょに考えよう～

31号

令和５年12月発行

いじめの原因は“空気”?!

今から10年前、「いじめ防止対策推進法」が成立した年に、当時中学3年生の松竹景虎さんが**「空気」と題した人権作文**を書いています。

松竹さんは、作文を書いてから約半年後、いじめを苦に自ら命を絶ちました。学級委員長になったことをきっかけに、一部の人から「死ねば」などと悪口が始まり、次第に同級生の間に広まっていきました。その中には、仲の良かった友人まで含まれていたというのです。この作文は、**NHK番組「いじめをノックアウト」**で取り上げられ、話題となりました。次にその作文の一部を紹介します。

> **では、いじめの原因は何かを伝えよう。それは「空気」だ。（中略）　それが目に見えないものだから恐ろしい。**
>
> **いじめをしなければ自分がやられてしまうという空気、いじめに参加しないといけない空気。いじめの加害者、主犯でさえも空気によって動かされているのだ。（後略）**

松竹さんが言う**いじめの“空気”**とは、いったい何でしょう。 それは、「自分は違う」、「おかしい」と思っていても、**他人の目を気にして、不安や恐怖からその気持ちを率直に出せないといった状況**です。この“空気”のように、**周囲の多数に合わせるように働く心理的な圧力**のことを**「同調圧力」**と呼んでいます。**目には見えないが確かに存在**し、**大人社会にも存在**しています。加害者の**いじめ行為がエスカレートしていくのも、この“空気”が関係**しているのです。

松竹さんは、いじめ問題の解決方法として、**みんなが親友になることや笑顔の大切さを**訴えています。いじめに苦しみながらも、笑顔でなんとか乗り越えようとしていた松竹さんのことを思うと胸が痛みます。

いじめを生まない、加わらない、見て見ぬふりをしないため、ふだんから**どんな人間関係や環境を作っておくべきなのか**、あらためて**私たちのまわりの“空気”について見つめ直してみましょう。**

それで、君たちはどう生きる…??

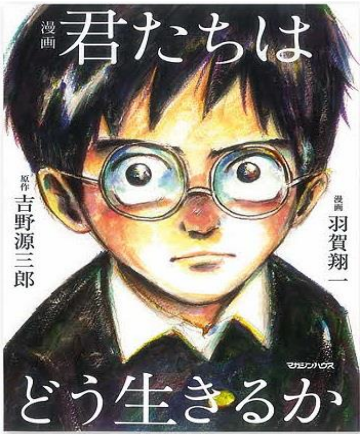
今年は、スタジオジブリの宮崎駿監督が 10 年ぶりに手がけた長編アニメ『君たちはどう生きるか』が話題になりました。この作品のタイトル（ストーリーは別もの）は、宮崎監督が少年時代に読んで感動したという**吉野源三郎さんの名著『君たちはどう生きるか』**(1937 年)から借りたそうです。さらに今年は、同書を漫画化した『漫画　君たちはどう生きるか』が再び注目を浴び、大ベストセラーになりました。

この物語では、父親を亡くした中学2年生の**主人公（愛称“コペルくん”）**が、様々な体験をもとに、**“おじさん”** との対話を通して**人間のあるべき姿**について考え、成長していきます。いじめや貧困などの問題を正面から取り上げ、**「自ら考え行動する意味」**を問いかけています。そこで、物語に登場する**いじめのシーン**について紹介します。

「同調圧力」に負けないで…

“コペルくん”の同級生である**浦川くんは、いじめっ子・山口くんのグループ**から**いじめの標的**にされていました。浦川くんは豆腐屋の息子、貧しい境遇でお弁当のおかずがいつも油揚げであったことから、「アブラアゲ」などと呼ばれバカにされていたのです。**“コペルくん”をはじめ、まわりの同級生**はというと、「浦川くんを助けたい」と思いつつも、山口くんたちが**怖くて見て見ぬふり**を続けていました。**「同調圧力」に負け、いじめを防ぐための行動を起こせなかった**のです。

しかし、“コペルくん”の友人で**正義感の強い“ガッチン”こと北見くん**が、見るに見かねて山口くんに**飛びかかり、取っ組み合い**になります。するとクラスの大半が北見くんの味方になり、流れは一気に逆転しました。



『漫画　君たちはどう生きるか』吉野源三郎（著）、羽賀翔一（イラスト）、マガジンハウス（刊）

ところが、いじめの被害者であるはずの浦川くんが、なんとこの**同調する流れに反し、必死になって争いを止めた**のです。

いったいなぜ浦川くんは、自分を苦しめ続ける相手を助けたのでしょう。

このできごとについて、“コペルくん”の“おじさん”は次のように語っています。

> **ほんとは浦川くんだって、まわりの勢いに乗っかってやり返したい気持ちもあったと思う。でも、あの中で…きっと想像してたんだ。一方的にやられるのが、どれだけイヤか…。まわりの流れに勇気をふりしぼって逆らった浦川くんは、本当に立派だと思うんだ…。　（『漫画　君たちはどう生きるか』より引用）**

いじめを受けてきた浦川くんは一方的に攻撃される者の痛みをよく知っており、加害者であっても同じ思いをしてほしくないという、**やさしさと勇気に満ちた行動**だったのです。これらのエピソードは、**いじめを受けることのつらさや苦しさ**、さらに**「同調圧力」のもたらす悪影響とそれに負けない生き方**について考えさせてくれます。

正しい方向に向かうために

“ガッチン”と浦川くんの勇気ある行動に胸を打たれた“コペルくん”は、友人が上級生から**いじめられたら助けると約束**します。数週間後、山口くんの兄たちが仕返しにやってきました。**友人たちは逃げずに“ガッチン”を守りぬきます。**ところが、その場に出くわした“コペルくん”は、**隠れたままで何もできませんでした。**そのことで“コペルくん”は、「自分がこんなに卑怯な人間だったとは…」と自分を責め、学校に行けなくなってしまいます。**親友を裏切り、悔やんでも悔やみきれない気持ち**で毎日を過ごしていました。**いじめというのは、見て見ぬふりをしてしまった者にも心の傷を残すのです。**

寝込んでいる“コペルくん”に、**お母さん**が**子どもの頃の体験談**を聞かせます。お年寄りに声をかけて荷物を持ってあげようと思ったのに、できないままだったという話です。そして、やるべきことをできずに**後悔したという経験を忘れなければ、その経験が将来の自分の背中を押してくれる**と語ります。

さらに、思い悩む“コペルくん”に、“おじさん”がこんなメッセージを贈ります。

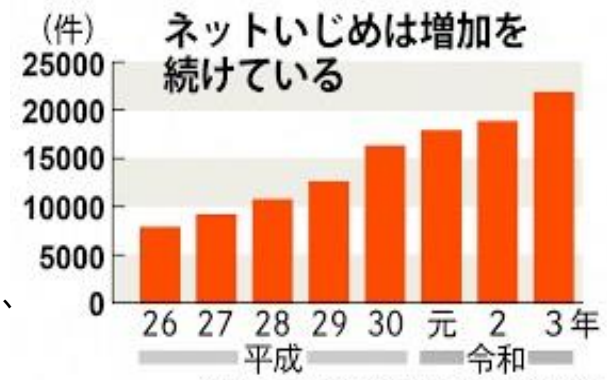
> コペル君、今君は大きな苦しみを感じている。なぜそれほど苦しまなければならないか。それはね、コペル君、君が正しい道に向かおうとしているからなんだ。
> 僕たちは、自分で自分を決定する力を持っている。だから、誤りを犯すこともある。しかし、僕たちは、自分で自分を決定する力を持っている。だから、誤りから立ち直ることもできるんだ。　（『漫画 君たちはどう生きるか』より引用）

人は誰でも、“コペルくん” と同じように**失敗や挫折**を経験し、それを悔んだり、悩んだりすることがあります。しかし、それを**乗り越えることで自分をより成長させることができる**のです。そのためには、コペルくんの**お母さんや“おじさん”のような存在**が大事になるのですが、その時々に**「自分はどうすべきなのか」を自らに問いかけ、答えを見つけていく姿勢や生き方**が求められます。

どうする？「ネットいじめ」

近年、**スマートフォン（スマホ）の普及**や**学校での一人一台端末の導入**により、**小・中学生のネット利用**が高まっています。今年の**三木市児童生徒インターネット利用調査**によれば、小学1年生でスマホや携帯電話の所持率が約 27％、中学3年生では約 90％です。また、**「ふだんからネットに接続」が小学1年生で73．0％、中学3年生では97．8％**、「1日4時間以上接続」が小学1年生で6．1％、中学 3 年生で28．3％です。

このような状況を背景に、全国的に**「ネットいじめ」（インターネットを使ったいじめ行為）が増加**しています。文部科学省の調査によれば、**パソコンや携帯電話などを使ったいじめの認知件数**が**令和3年度に 2 万件を越えました（右図）。**



※小中高校など（文部科学省調べ）
（「ザ・サンケイニュース」より）

また、最近の**「ネットいじめ」の傾向**として、**LINE（ﾗｲﾝ）や X（ｴｯｸｽ・旧ﾂｲｯﾀｰ）での書き込みなど**に加え、**オンラインゲームでのいじめ**が目立ってきています。例えば、サバイバル型の戦闘ゲームの**ボイスチャット（会話機能）**での、「へたくそ」、「バカ」、「消えろ」といった**悪口や暴言**です。ゲームが過激になればなるほど、言葉も過激になります。「ネットいじめ」は**見えにくく、命に関わる問題に発展しやすい**ことを忘れてはいけません。

「ネットいじめ」を防ぐには、**大人がネットの世界で起きていることにもっと関心を持ち、子どもと一緒になって安全なネット利用について考える**ことが必要です。その中で、相手に気持ちをどう伝えるか、どんな言葉や行為がいじめにつながるのか、もしも自分や友人にトラブルが生じた時にどうするかなどについて話し合い、**共通の認識を持っておく**ことが大切です。

今年、**三木市子どもいじめ防止センターが設置されて 10 年**を迎えました。三木市の子どもたちが安心して生活し、育つことのできる環境をつくるため、**相談や啓発など、子どもを見守り、いじめを防止するための取組**を行っています。

いじめのことでつらいことや困ったことがあれば、ぜひ相談してください。

三木市子どもいじめ防止センター

電話：0794-82-8110

相談日　月曜日～金曜日

ijime_boshicenter@city.miki.lg.jp